

## 1 声楽コース

教育目標 ディクシオン研究を基盤に、歌曲、オペラ、オラトリオ、重唱の基本的な歌唱方法を学び、声楽の専門的知識と技術を身につける。

募集人数 10名以内

### カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備考	
		第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	歌曲演習Ⅰ	B	2			選択必修	
		歌曲演習Ⅱ	B		2			
		オペラ演習Ⅰ	B			2		
		オペラ演習Ⅱ	B			2		
		アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅰ	B			2		
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅱ	B			2			
	専門講義	オペラ史A	C	2				選択必修
		オペラ史B	C	2				
		宗教音楽史A	C	2				
		宗教音楽史B	C	2				
実技	声楽実技AⅠ	B	1			4		
	声楽実技AⅡ	B		1				
	声楽実技AⅢ	B			1			
	声楽実技AⅣ	B			1			
その他	合唱Ⅴ	C	2			4		
	合唱Ⅵ	C		2				
コース推奨	専門研究	歌曲作品研究A	B	2			1セメスターに1科目のみ履修 歌曲演習と同じ言語を履修。伊語、独語はⅣまで、仏語はⅡまで未履修者。	
		歌曲作品研究B	B	2				
		歌曲作品研究C	B	2				
		歌曲作品研究D	B	2				
	その他	伊語/独語/仏語ディクシオン	B	2	2	2		2
		身体表現A	B	1				
	共通選択科目	身体表現B	B	1				
		ソルフェージュⅤ	B	1				
		ソルフェージュⅥ	B		1			
		ソルフェージュⅦ	B			1		
		ソルフェージュⅧ	B					1
		ピアノ実技BⅠ	B	1				
ピアノ実技BⅡ		B		1				
ピアノ実技BⅢ		B			1			
ピアノ実技BⅣ	B				1			

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 声楽演奏試験

又は 歌曲1曲と自由曲1曲

課題曲 (曲間を含めて8分以内。途中で切ることがある。)

※受験者が本学4年生の場合、伴奏者は本学学部在学学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。

それ以外の受験者は、この限りではない。

※国立音楽大学4年在学中で、現在声楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 2 ピアノ・コース

教育目標 コンチェルトやアンサンブルを学び音楽の幅を広げるとともに、作品分析、ピアノリテラチュアを通じて、より深く豊かな演奏表現をめざす。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅰ	B	2			8	
		ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅱ	B		2			
		ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅲ	B			2		
		ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅳ	B			2		
	実技	ピアノ実技AⅠ	B	1			4	
		ピアノ実技AⅡ	B		1			
		ピアノ実技AⅢ	B			1		
		ピアノ実技AⅣ	B			1		
	その他	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2			8	
		鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2			
		ピアノ・リテラチュアⅠ	B	2				
		ピアノ・リテラチュアⅡ	B		2			
コース推奨	専門講義	鍵盤音楽史A	C	2				
		鍵盤音楽史B	C	2				
	その他	現代音楽入門Ⅰ	B	2				
		現代音楽入門Ⅱ	B		2			
	共通選択科目	総譜奏法BⅠ	B	1				
		総譜奏法BⅡ	B		1			
		オルガン基礎講座	C	2				
		チェンバロ基礎講座	C	2				
		リトミックⅠ	B	1				
		リトミックⅡ	B		1			
		ポディーテクニクⅠ	B	1				
ポディーテクニクⅡ	B		1					

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 ピアノ演奏試験

又は 自由曲 7分以上12分以内

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在ピアノ・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 3 ピアノ指導コース

教育目標 教材研究や子供への指導実習を通して、質の高いピアノ指導者のための知識や技術を実践的かつ体系的に学ぶ。

募集人数 欠単によるコース未修了者のみ

### カリキュラム表

	授業科目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	ピアノ指導研究Ⅰ	B	2			8	
		ピアノ指導研究Ⅱ	B		2			
		ピアノ指導研究Ⅲ	B			2		
		ピアノ指導研究Ⅳ	B			2		
	専門講義	ピアノ教材研究Ⅰ	C	2			8	
		ピアノ教材研究Ⅱ	C		2			
		ピアノ教育論Ⅰ	C	2				
		ピアノ教育論Ⅱ	C		2			
	実技	ピアノ実技AⅠ	B	1			4	
		ピアノ実技AⅡ	B		1			
		ピアノ実技AⅢ	B			1		
		ピアノ実技AⅣ	B			1		
コース推奨	ピアノ指導法	B	2			2		
	その他	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2				
		鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2			
		ピアノ・リテラチュアⅠ	B	2				
		ピアノ・リテラチュアⅡ	B		2			
	共通選択科目	リトミックⅠ	B	1				
		リトミックⅡ	B		1			
		ボディータクニックⅠ	B	1				
		ボディータクニックⅡ	B		1			
	教養科目	発達心理学A	C	2				
発達心理学B		C	2					

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「ピアノ指導研究協」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) ピアノ演奏試験

又は 自由曲 6分以上12分以内

課題曲 (2) 面接

※国立音楽大学4年在学中で、現在ピアノ指導コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 4 オルガン・コース

教育目標 オルガンの構造、特性および通奏低音奏法などを学ぶことを通し、オルガン演奏家として必要な能力を養成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	オルガン研究Ⅰ	B	2			8	選択必修
	オルガン研究Ⅱ	B		2				
	オルガン研究Ⅲ	B			2			
	オルガン研究Ⅳ	B			2			
	専門講義	鍵盤音楽史A	C	2			4	
	鍵盤音楽史B	C	2					
	西洋古楽研究A	C	2					
	西洋古楽研究B	C	2					
	実技	オルガン実技Ⅰ	B	1			4	
	オルガン実技Ⅱ	B		1				
	オルガン実技Ⅲ	B			1			
	オルガン実技Ⅳ	B			1			
コース推奨	共通選択科目	厳格対位法Ⅰ	B	1			2	
	厳格対位法Ⅱ	B		1				
	チェンバロ基礎講座	C	2					
	総譜奏法BⅠ	B	1					
	総譜奏法BⅡ	B		1				
	総譜奏法BⅢ	B			1			
	総譜奏法BⅣ	B				1		
	指揮法研究Ⅰ	B	1					
	指揮法研究Ⅱ	B		1				
	指揮法研究Ⅲ	B			1			
	指揮法研究Ⅳ	B				1		
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅰ	B	1					
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅱ	B		1				
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅲ	B			1			
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅳ	B				1		
	教養科目	宗教A	C	2				
宗教B	C	2						
宗教C	C	2						
宗教D	C	2						

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) ピアノ又はオルガンでの演奏試験

又は (A)J. S. Bach:平均律 ピアノ曲集 第1巻、第2巻より  
任意のプレリュードとフーガ

課題曲 (B)J. S. Bachの任意のオルガン作品を1曲

上記より各自が選択する。暗譜の必要はない。

(2) 面接

※国立音楽大学4年在学中で、現在オルガン・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 5 総合電子オルガン・コース

教育目標 電子オルガンの実技レッスンを軸に、ソロおよびアンサンブルでも「書けて、弾ける」、即興も可能な応用力のある人材を養成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	電子オルガン・アンサンブルⅠ	B	2			8	
		電子オルガン・アンサンブルⅡ	B		2			
		電子オルガン・アンサンブルⅢ	B			2		
		電子オルガン・アンサンブルⅣ	B			2		
	専門講義	電子オルガン音楽理論Ⅰ	C	2			8	
		電子オルガン音楽理論Ⅱ	C		2			
		電子オルガン音楽理論Ⅲ	C			2		
		電子オルガン音楽理論Ⅳ	C			2		
	実技	電子オルガン実技AⅠ	B	1			4	
		電子オルガン実技AⅡ	B		1			
		電子オルガン実技AⅢ	B			1		
		電子オルガン実技AⅣ	B			1		
	その他	総譜奏法AⅠ	B	1			4	
		総譜奏法AⅡ	B		1			
		総譜奏法AⅢ	B			1		
		総譜奏法AⅣ	B			1		
コース推奨	共通選択科目	ポピュラー音楽研究A	C	2				
		ポピュラー音楽研究B	C	2				
		ポピュラー音楽研究C	C	2				
		ポピュラー音楽研究D	C	2				
		ポピュラー音楽研究E	C	2				
		ポピュラー音楽研究F	C	2				
		ポピュラー音楽研究G	C	2				
		ポピュラー音楽研究H	C	2				
	ピアノ実技BⅠ	B	1			1		
	ピアノ実技BⅡ	B		1				
	ピアノ実技BⅢ	B			1			
	ピアノ実技BⅣ	B			1			
	教養科目	楽器と音響A	C	2				
		楽器と音響B	C	2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「電子オルガン・アンサンブル協」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 電子オルガン演奏試験

又は 自由曲 10分以内

課題曲 (自作曲または自編曲が望ましい)

※国立音楽大学4年在学中で、現在総合電子オルガン・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 6 管弦楽コース

教育目標 演奏技術の向上とともに、幅広いレパートリーを身につけ、オーケストラプレイヤーとして必要なことをあらゆる角度から学ぶ。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備考		
		第1	第2	第3	第4				
専門研究 管弦楽Ⅴ 管弦楽Ⅵ 管弦楽Ⅶ 管弦楽Ⅷ 管弦楽特別演習Ⅰ 管弦楽特別演習Ⅱ 管弦楽特別演習Ⅲ 管弦楽特別演習Ⅳ	B	2				8	履修を許可された者のみ履修可		
	B		2						
	B			2					
	B				2				
	B	2							
	B		2						
	B			2					
	B				2				
	C	2						4	
	C	2							
コース必修 実技 弦管打実技AⅠ 弦管打実技AⅡ 弦管打実技AⅢ 弦管打実技AⅣ	B	1				4			
	B		1						
	B			1					
	B				1				
その他 オーケストラ・スタディⅠ オーケストラ・スタディⅡ オーケストラ・スタディⅢ オーケストラ・スタディⅣ 管弦楽法BⅠ 管弦楽法BⅡ	B	2				10			
	B		2						
	B			2					
	B				2				
	B	1							
	B		1						
コース推奨 専門研究 吹奏楽Ⅴ 吹奏楽Ⅵ 吹奏楽Ⅶ 吹奏楽Ⅷ その他 アンサンブルⅤ アンサンブルⅥ アンサンブルⅦ アンサンブルⅧ 共通選択科目 指揮法研究Ⅰ 指揮法研究Ⅱ	B	2				管打、コントラバス、ハープ履修可			
	B		2						
	B			2					
	B				2				
	B	2							
	B		2						
	B			2					
	B				2				
	B	1							
	B		1						

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) 弦管打演奏試験  
(伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者を同伴すること。)  
又は  
【ヴァイオリン】 モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第3番、第4番、第5番 第1楽章(カデンツァ付)より 任意の1曲

課題曲  
【ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ】 自由曲  
【フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット】 モーツァルト:協奏曲より 全楽章  
【ホルン】 モーツァルト:ホルン協奏曲 第3番、第4番より 任意の1曲  
【トランペット】 ハイドン:トランペット協奏曲  
【トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器】 自由曲  
(2) オーケストラ・スタディ(管打楽器のみ) 課題は出願締切後に発表  
注:弦楽器在校生(本学4年生)は出願のみとする。

※国立音楽大学4年在学中で、現在管弦楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 7 吹奏楽コース

教育目標 ブラスオルケスターおよびシンフォニック・ウインドアンサンブルという異なる形態を通じて、幅広いレパートリーを学び、さまざまなジャンルの演奏体験を通して、より高度な吹奏楽の音楽表現を修得する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	履修費				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	吹奏楽V	B	2				} 本学弦管打楽器専修卒業生は選択	
	吹奏楽VI	B		2		8		
	吹奏楽VII	B			2			
	吹奏楽VIII	B						2
	吹奏楽指導研究I	B	2					8
	吹奏楽指導研究II	B		2				
	吹奏楽課題研究I	B			2			
	吹奏楽課題研究II	B				2		
	実技	弦管打実技A I	B	1				4(0)
		弦管打実技A II	B		1			
		弦管打実技A III	B			1		
		弦管打実技A IV	B					
共通選択科目	編曲法B I	B	1			2		
	編曲法B II	B		1				
コース推奨	管弦楽法B I	B	1					
	管弦楽法B II	B		1				
	アンサンブルV	B	2					
	アンサンブルVI	B		2				
	アンサンブルVII	B			2			
	アンサンブルVIII	B					2	
	共通選択科目	指揮法研究 I	B	1				
		指揮法研究 II	B		1			
編曲法B III		B			1			
編曲法B IV		B				1		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 弦管打演奏試験

又は 自由曲

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在吹奏楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

8 室内楽コース

教育目標 さまざまなアンサンブル形態に応じ、幅広いレパートリーを学ぶことを通し、室内楽奏者として必要なアンサンブル能力を養成する。

募集人数 若干名

カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	単位				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究 管弦楽Ⅴ	B	2				8(0)	弦必修、管打は選抜者のみ
	管弦楽Ⅵ	B		2				
	管弦楽Ⅶ	B			2			
	管弦楽Ⅷ	B				2		
	専門講義 室内楽史A	C	2				4	
	室内楽史B	C	2					
	特別研究 室内楽Ⅰ	A	4				16	
	室内楽Ⅱ	A		4				
	室内楽Ⅲ	A			4			
	室内楽Ⅳ	A				4		
実技	弦管打実技AⅠ	B	1				4(0)	本学弦管打楽器専修卒業生は選択
	弦管打実技AⅡ	B		1				
	弦管打実技AⅢ	B			1			
	弦管打実技AⅣ	B				1		
その他	管弦楽法BⅠ	B	1				2	
	管弦楽法BⅡ	B		1				
コース推奨	専門研究 管弦楽特別演習Ⅰ	B	2				履修を許可された者のみ履修可	
	管弦楽特別演習Ⅱ	B		2				
	管弦楽特別演習Ⅲ	B			2			
	管弦楽特別演習Ⅳ	B				2		
	吹奏楽Ⅴ	B	2				管打、コントラバス、ハーブ履修可	
	吹奏楽Ⅵ	B		2				
	吹奏楽Ⅶ	B			2			
	吹奏楽Ⅷ	B				2		
	その他	室内楽作品研究A	B	2				弦のみ履修可
		室内楽作品研究B	B	2				
		管楽器作品研究	B	2				
		弦楽器作品研究	B	2				
		アンサンブルⅤ	B	2				
		アンサンブルⅥ	B		2			
		アンサンブルⅦ	B			2		
		アンサンブルⅧ	B				2	
オーケストラ・スタディⅠ		B	2					
オーケストラ・スタディⅡ		B		2				
オーケストラ・スタディⅢ		B			2			
オーケストラ・スタディⅣ		B				2		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「室内楽協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願にあたっては、3～8人程度のグループを編成して応募すること。弦楽器は弦楽四重奏、木管楽器は木管五重奏、金管楽器は金管五重奏、

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 室内楽演奏試験

又は

弦楽器は、下記の4曲の弦楽四重奏曲から任意の1曲を演奏する。

課題曲

- ・Haydn: 弦楽四重奏曲 ハ長調 作品76-3より 第1、4楽章
- ・Haydn: 弦楽四重奏曲 ニ長調 作品76-5より 第1、2楽章
- ・Mozart: 弦楽四重奏曲 変ロ長調 K.458より 第1、3楽章
- ・Beethoven: 弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品18-1より 第1、4楽章

管楽器は、自由曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在室内楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 9 オペラ・ソリスト・コース

教育目標 オペラ歌手となるために必要な歌唱能力や舞台表現等、基本的な知識を養う。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考	
			第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	レパートリー研究Ⅰ	B	2				伊語、独語はⅣまで、仏語はⅡまで、いずれか1ヶ国語選択必修	
		レパートリー研究Ⅱ	B		2				
		レパートリー研究Ⅲ	B			2			
		レパートリー研究Ⅳ	B				2		
	専門講義	オペラ史A	C	2					4
		オペラ史B	C	2					
	特別研究	オペラ特別演習Ⅰ	A	4					16
		オペラ特別演習Ⅱ	A		4				
		オペラ特別演習Ⅲ	A			4			
		オペラ特別演習Ⅳ	A				4		
	実技	声楽実技AⅠ	B	1					4
		声楽実技AⅡ	B		1				
		声楽実技AⅢ	B			1			
		声楽実技AⅣ	B				1		
	その他	伊語/独語/仏語ディクシオン	B	2	2	2	2		4(8)
		身体表現A	B	1					4
身体表現B		B	1						
身体表現C		B			1				
身体表現D		B				1			
コース推奨	合唱Ⅴ	C	2						
	合唱Ⅵ	C		2					
	宗教A	C	2						
	宗教B	C	2						
	宗教C	C	2						

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「オペラ特別演習協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 声楽演奏試験

又 は  
課題曲 オペラのアリア2曲(モーツァルトのアリアを含むこと。)原語・原調を原則とする。途中で切ることがある。

※アルトでモーツァルトの適当なオペラのアリアがない場合は、グルック 作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」よりオルフェオのアリアでもよい。

※受験者が本学学部4年生の場合、伴奏者は本学在学学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。

それ以外の受験者は、この限りではない。

※国立音楽大学4年在学中で、現在オペラ・ソリスト・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 10 歌曲ソリスト・コース

教育目標 演奏家となるために必要な歌唱能力、詩の解釈、ことばへの豊かな感性を磨き、基本的な知識を養う。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	歌曲作品研究A	B	2			12	1セメスターに1科目のみ履修
	歌曲作品研究B	B	2					
	歌曲作品研究C	B	2					
	歌曲作品研究D	B	2					
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅰ	B	2					
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅱ	B		2				
	特別研究	歌曲特別演習Ⅰ	A	4			16	
	歌曲特別演習Ⅱ	A		4				
	歌曲特別演習Ⅲ	A			4			
	歌曲特別演習Ⅳ	A				4		
実技	声楽実技AⅠ	B	1			4		
	声楽実技AⅡ	B		1				
	声楽実技AⅢ	B			1			
	声楽実技AⅣ	B					1	
コース推奨	伊語/独語/仏語ディクシオン	B	2	2	2	2	4(8)	伊語、独語はⅣまで、仏語はⅡまで、いずれか1ヶ国語選択必修
	その他	身体表現A	B	1				
		身体表現B	B	1				
		身体表現C	B				1	
		身体表現D	B					
	教養科目	合唱Ⅴ	C	2				
		合唱Ⅵ	C		2			
		宗教A	C	2				
		宗教B	C	2				
		宗教C	C	2				
		宗教D	C	2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「歌曲特別演習協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 声楽演奏試験

又 は ミサ、オラトリオ、カンタータ等の独唱曲1曲および歌曲1曲。

課題曲 歌曲は、日・独・仏・伊の歌曲コースより志望するコースの原語で歌うこと。曲間を含めて8分以内。途中で切ることがある。

※受験者が本学学部4年生の場合、伴奏者は本学在学学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。

それ以外の受験者は、この限りではない。

※国立音楽大学4年在学中で、現在歌曲ソリスト・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 11 鍵盤楽器ソリスト・コース

教育目標 鍵盤楽器のソリストにふさわしいレパートリーの拡大と豊かな音楽表現を身につける。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース 必修	専門研究	作曲家と作品分析Ⅰ	B	2			8	
		作曲家と作品分析Ⅱ	B		2			
		作曲家と作品分析Ⅲ	B			2		
		作曲家と作品分析Ⅳ	B			2		
	特別研究	特別レッスンⅠ	A	4			16	
		特別レッスンⅡ	A		4			
		特別レッスンⅢ	A			4		
		特別レッスンⅣ	A			4		
	実技	ピアノ実技AⅠ	B	1			4	
		ピアノ実技AⅡ	B		1			
		ピアノ実技AⅢ	B			1		
		ピアノ実技AⅣ	B			1		
その他	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2			4		
	鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2				
	現代音楽入門Ⅰ	B	2			4		
	現代音楽入門Ⅱ	B		2				
コース 推奨	専門講義	鍵盤音楽史A	C	2				
		鍵盤音楽史B	C	2				
	その他	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅰ	B	2				
		ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅱ	B		2			

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「特別レッスン協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口 directly 納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 ピアノ演奏試験

又は

課題曲

下記の各グループより選曲し、実際の演奏時間が35分以上となるプログラムを提出する。ただし(1)あるいは(2)のみのプログラムは不可。  
(1)ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の一曲(全楽章)  
(2)上記以外の作曲家による任意の作品(同一の作曲家による複数の作品、あるいは複数の作曲家の作品の組み合わせも可。ただし、出版されているものに限る。また、内部奏法等を含んだ作品は除く。)  
(注) 1. 演奏は暗譜とする。  
2. 繰り返しの有無は各自の自由とする。  
3. 時間の都合によりカットすることもある。

※国立音楽大学4年在学中で、現在鍵盤楽器ソリスト・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 12 アンサンブル・ピアノ・コース

教育目標 アンサンブル奏者としての基礎と表現力を身につける。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	アンサンブルレッスンⅠ	B	2			8	
	アンサンブルレッスンⅡ	B		2				
	アンサンブルレッスンⅢ	B			2			
	アンサンブルレッスンⅣ	B			2			
	特別研究	アンサンブル演習Ⅰ	A	4			16	
	アンサンブル演習Ⅱ	A		4				
	アンサンブル演習Ⅲ	A			4			
	アンサンブル演習Ⅳ	A			4			
	実技	ピアノ実技AⅠ	B	1			4	
	ピアノ実技AⅡ	B		1				
	ピアノ実技AⅢ	B			1			
	ピアノ実技AⅣ	B			1			
	その他	室内楽作品研究A	B	2			6	
		室内楽作品研究B	B	2				
		管楽器作品研究	B	2				
		弦楽器作品研究	B	2				
		歌曲作品研究A	B	2				
		歌曲作品研究B	B	2				
		歌曲作品研究C	B	2				
		歌曲作品研究D	B	2				
伊語/独語/仏語ディクシオンⅠ		B	2					
伊語/独語/仏語ディクシオンⅡ		B		2				
共通選択科目	総譜奏法BⅠ	B	1			2(4) ※		
	総譜奏法BⅡ	B		1				
	管弦楽法CⅠ	B	1					
	管弦楽法CⅡ	B		1				
	弦管打実技BⅠ	B	1					
	弦管打実技BⅡ	B		1				
	弦管打実技BⅢ	B			1			
弦管打実技BⅣ	B			1				

※ディクシオン選択者は4単位、総譜奏法B、管弦楽法C選択者は2単位

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 器楽または声楽との共演による演奏試験(共演者を同伴すること)

又は 自由曲 10分程度

課題曲 (2) アンサンブル・コース単願者のみ、ソロ自由曲6分から12分演奏試験  
(他の鍵盤コースと併願者は免除とする)

※国立音楽大学4年在学中で、現在アンサンブル・ピアノ・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「アンサンブル・レッスン協」の評価A以上

13 弦管打楽器ソリスト・コース

教育目標 コンチェルトをはじめとするさまざまなジャンルの演奏技術、解釈を学び、それぞれの楽器のソリストに必要なレパートリーを身につけ、各種オーディション、コンクールに入賞する演奏能力を身につける。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授 業 科 目	履 修 費 ラ ン ク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考	
		第1	第2	第3	第4			
コース必修	管弦楽Ⅴ	B	2			8(0)	弦必修、管打は選抜者のみ	
	管弦楽Ⅵ	B		2				
	管弦楽Ⅶ	B			2			
	管弦楽Ⅷ	B			2			
	特別レッスンⅠ	A	4			16		
	特別レッスンⅡ	A		4				
	特別レッスンⅢ	A			4			
	特別レッスンⅣ	A			4			
	弦管打実技Ⅰ	B	1			4		
	弦管打実技Ⅱ	B		1				
	弦管打実技Ⅲ	B			1			
	弦管打実技Ⅳ	B			1			
	管弦楽法Ⅰ	B	1			2		
	管弦楽法Ⅱ	B		1				
	コース推奨	管弦楽特別演習Ⅰ	B	2				履修を許可された者のみ履修可
		管弦楽特別演習Ⅱ	B		2			
管弦楽特別演習Ⅲ		B			2			
管弦楽特別演習Ⅳ		B			2			
吹奏楽Ⅴ		B	2			管打、コントラバス、ハーブ履修可		
吹奏楽Ⅵ		B		2				
吹奏楽Ⅶ		B			2			
吹奏楽Ⅷ		B			2			
室内楽Ⅰ	A	4			弦のみ履修可			
室内楽Ⅱ	A		4					
室内楽Ⅲ	A			4				
室内楽Ⅳ	A			4				
室内楽作品研究A	B	2						
室内楽作品研究B	B	2						
管楽器作品研究	B	2						
弦楽器作品研究	B	2						
アンサンブルⅤ	B	2						
アンサンブルⅥ	B		2					
アンサンブルⅦ	B			2				
アンサンブルⅧ	B			2				
オーケストラ・スタディⅠ	B	2						
オーケストラ・スタディⅡ	B		2					
オーケストラ・スタディⅢ	B			2				
オーケストラ・スタディⅣ	B			2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「特別レッスン協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 弦管打演奏試験

又は 別記「課題曲一覧表」参照

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在弦管打楽器ソリスト・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに(1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 14 指揮者／コレペティートル・コース

**教育目標** 総譜奏法、指揮法などを実践的に学ぶことを通して、指揮者を養成する一方、多くのオペラのレパートリーを知るコレペティートルの養成もめざす。将来的に、職業的な指揮者或いはコレペティートルとして活躍している能力を有する人材を育成する。

**募集人数** 若干名

**カリキュラム表**

授業科目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備考	
		第1	第2	第3	第4			
専門研究	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅰ	B	2			8		
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅱ	B		2				
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅲ	B			2			
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅳ	B			2			
特別研究	オーケストラ／声楽作品特別研究Ⅰ	A	4			16		
	オーケストラ／声楽作品特別研究Ⅱ	A		4				
	オーケストラ／声楽作品特別研究Ⅲ	A			4			
	オーケストラ／声楽作品特別研究Ⅳ	A			4			
コース必修 実技	声楽実技BⅠ	B	1			8 (4)		コレペティートル必修、 本学声楽専修卒業生は選択
	声楽実技BⅡ	B		1				
	声楽実技BⅢ	B			1			
	声楽実技BⅣ	B			1			
	ピアノ実技BⅠ	B	1			本学鍵盤楽器専修ピアノ卒業生は選択		
	ピアノ実技BⅡ	B		1				
	ピアノ実技BⅢ	B			1			
	ピアノ実技BⅣ	B			1			
	弦管打実技BⅠ	B	1			指揮者必修 本学弦管打専修卒業生は選択		
	弦管打実技BⅡ	B		1				
	弦管打実技BⅢ	B			1			
	弦管打実技BⅣ	B			1			
その他	総譜奏法AⅠ	B	1			8 (12) ※	指揮者必修	
	総譜奏法AⅡ	B		1				
	総譜奏法AⅢ	B			1			
	総譜奏法AⅣ	B			1			
	管弦楽法AⅠ	B	1			コレペティートル必修 伊語・独語はいずれか1ヶ国語、 仏語は伊語・独語のいずれかと組み合わせて 2ヶ国語選択		
	管弦楽法AⅡ	B		1				
	管弦楽法AⅢ	B			1			
	管弦楽法AⅣ	B			1			
伊語／独語／仏語ディクシオンⅠ	B	2			2			
伊語／独語／仏語ディクシオンⅡ	B		2					
伊語／独語ディクシオンⅢ	B			2				
伊語／独語ディクシオンⅣ	B			2				
コース推奨 共通選択科目	キーボード・ハーモニーⅠ	B	1					
	キーボード・ハーモニーⅡ	B		1				
	キーボード・ハーモニーⅢ	B			1			
	キーボード・ハーモニーⅣ	B			1			
	キーボード・ハーモニー入門Ⅰ	B	1					
	キーボード・ハーモニー入門Ⅱ	B		1				
	キーボード・ハーモニーA～GⅠ	B	1					
	キーボード・ハーモニーA～GⅡ	B		1				

※指揮者は8単位、コレペティートルは12単位

**修了認定基準** コース必修科目の単位修得、「オーケストラ／声楽作品特別研究協」の評価B以上

**出願資格** 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

**出願期間** 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
**出願手続** 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

**出願書類** 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

**出願料** 10,000円

**試験科目** 指揮者志望の場合

又は

**課題曲**

- (1) 専攻実技もしくはピアノ、声楽の演奏試験(5～6分以内の自由曲)
- (2) ピアノによる簡単なスコア初見
- (3) 誤奏指摘テスト
- (4) 指揮をしながらのリズム音読

コレペティートル志望の場合

- (1) ピアノの演奏試験(5～6分以内の自由曲)
- (2) ピアノ初見演奏
- (3) 誤奏指摘テスト
- (4) ピアノ弾き歌い(コンコーネ50番Op.9のNo.13、15、17、19より当日指定)

※国立音楽大学4年在学中で、現在指揮者／コレペティートル・コースを履修している者は面接試験のみとする。

**試験日** 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

**合格発表** 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

**合格後の手続** 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

- (1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。
- また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 15 西洋古楽コース

教育目標 西洋古楽器の独奏とアンサンブル能力を、理論と歴史を学びつつ高め、  
西洋古楽器の演奏における専門家をめざす人材を育成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	履修				コース 最低修得 単位数	備考	
		第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	西洋古楽演奏研究(リコーダー) I	B	2			8 選択必修	
		西洋古楽演奏研究(リコーダー) II	B		2			
		西洋古楽演奏研究(リコーダー) III	B			2		
		西洋古楽演奏研究(リコーダー) IV	B			2		
	専門研究	西洋古楽演奏研究(ヴィオラ・ダ・ガンバ) I	B	2				
		西洋古楽演奏研究(ヴィオラ・ダ・ガンバ) II	B		2			
		西洋古楽演奏研究(ヴィオラ・ダ・ガンバ) III	B			2		
		西洋古楽演奏研究(ヴィオラ・ダ・ガンバ) IV	B			2		
	専門講義	西洋古楽演奏研究(チェンバロ) I	B	2				
		西洋古楽演奏研究(チェンバロ) II	B		2			
		西洋古楽演奏研究(チェンバロ) III	B			2		
		西洋古楽演奏研究(チェンバロ) IV	B			2		
	専門講義	音楽学研究講義	C	2				4
		音楽学研究講義	C	2				4
西洋古楽研究A		C	2					
西洋古楽研究B		C	2					
コース推奨	専門研究	原書講読(独語、仏語、伊語) I	B	2				
		原書講読(独語、仏語、伊語) II	B		2			
	共通選択科目	チェンバロ基礎講座	C	2				
		厳格対位法 I	B	1				
		厳格対位法 II	B		1			
		自由対位法 I	B	1				
		自由対位法 II	B		1			
		グレゴリオ聖歌A	C	2				
グレゴリオ聖歌B	C	2						

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「西洋古楽演奏研究協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロのいずれかの演奏試験

又は 別記「課題曲一覧表」参照

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在西洋古楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

16 日本伝統音楽コース

教育目標 西洋の音楽文化とは異なる音のとらえ方、合奏の考え方を持つ日本の伝統的音楽文化を理解し、演奏能力を高め、日本の伝統楽器の演奏における専門家をめざす人材を育成する。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	コース 最低修得 単位数				備考		
		第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅰ	B	2			8 選択必修	
		日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅱ	B		2			
		日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅲ	B			2		
		日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅳ	B			2		
		日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅰ	B	2				
		日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅱ	B		2			
		日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅲ	B			2		
		日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅳ	B			2		
		日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅰ	B	2				
		日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅱ	B		2			
	日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅲ	B			2			
	日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅳ	B			2			
	共通選択科目	日本音楽史概説A	C	2				4 選択必修
		日本音楽史概説B	C	2				
日本音楽(雅楽)A		C	2					
日本音楽(雅楽)B		C	2					
日本音楽(声明)A		C	2					
日本音楽(声明)B		C	2					
日本音楽(能楽)A		C	2					
日本音楽(能楽)B		C	2					
日本音楽(近世邦楽)A		C	2					
日本音楽(近世邦楽)B		C	2					
日本音楽(近世邦楽)C	C	2						
コース推奨	専門研究	原書講読(日本語)Ⅰ	B	2				
		原書講読(日本語)Ⅱ	B		2			
	専門講義	音楽学研究講義	C	2				
		音楽学研究講義	C	2				
	共通選択科目	アジア音楽史A	C	2				
		アジア音楽史B	C	2				
		日本伝統音楽表現(囃子)Ⅰ	B	1				
		日本伝統音楽表現(囃子)Ⅱ	B		1			
日本伝統音楽表現(囃子)Ⅲ	B			1				
日本伝統音楽表現(囃子)Ⅳ	B			1				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「日本伝統音楽演奏研究協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円  
 試験科目 雅楽、三味線、箏のいずれかの演奏試験  
 又は ・雅楽 「平調 越天楽」  
 ・三味線 「松の緑」、「供奴」のいずれか  
 課題曲 (バージョンについて質問がある場合は、教務課に問い合わせること。)  
 ・箏 「六段の調」一段

※国立音楽大学4年在学中で、現在日本伝統音楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに  
 (1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。  
 また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 17 演奏応用コース

教育目標 主に即興演奏を中心に、ジャズやポピュラー音楽などの演奏能力を高め、アレンジのテクニックについても学ぶ。ジャズ・ポピュラー音楽の演奏経験を積み、基本的知識を身につける。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース 必修	演奏応用研究Ⅰ	B	2				8	
	演奏応用研究Ⅱ	B		2				
	演奏応用研究Ⅲ	B			2			
	演奏応用研究Ⅳ	B				2		
コース 専 門 講 義	ジャズ・ポピュラー理論Ⅰ	C	2				8	
	ジャズ・ポピュラー理論Ⅱ	C		2				
	ジャズ・ポピュラー理論Ⅲ	C			2			
	ジャズ・ポピュラー理論Ⅳ	C				2		
コース 推 奨	ジャズ入門	C	2					
	ジャズ研究Ⅰ	C	2					
	ジャズ研究Ⅱ	C		2				
	ジャズの歴史Ⅰ	C	2					
	ジャズの歴史Ⅱ	C		2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 楽曲演奏、即興演奏および面接  
 1.各楽器共通演習課題における試験(ベース、ドラム及びパーカッションを除く)  
 (1)コードトーン課題 (2)スケール課題 (3)II-V-I課題  
 又は 当日以上の三種を指定したKEYよりスタートし全調で演奏する。テンポは四分音符120のメトロノームに合わせて演奏する。リズムはSwing。

課題曲 2.課題曲の演奏  
 <フロント楽器、ピアノ> 下記2曲をマイナスワンCD(説明会※にて配布)に合わせて暗譜で演奏。  
 (1)Billie's Bounce (key:F) (メトロノーム四分音符=192)  
 テーマを2コーラス演奏～solo2コーラス以上  
 (2)Rhythm Change (key:B♭) (メトロノーム四分音符=120)  
 solo1コーラス以上(テーマなし)  
 <ベース> 上記課題のBass LineをマイナスワンCDに合わせて2コーラス以上暗譜で演奏。  
 <ドラム、パーカッション> 別途演奏課題

3.面接

※出願希望者は、選抜試験の説明会を行いますので、必ず出席して下さい。  
 日時:10月5日(火)、11月16日(火) 16:20～17:50 3号館別館B室  
 【追加開催】10月19日(火) 16:20～17:50 3号館別館B室

※国立音楽大学4年在学中で、現在演奏応用コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに  
 (1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。  
 また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 18 マネージメント・コース

教育目標 幅広い音楽の知識を身につけ音楽現場の経験を積むことを通して、音楽ホールの企画・運営や演奏団体でのマネージメントのできる人材を養成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修 専門研究	マネージメント実習Ⅰ	B	2				8	
	マネージメント実習Ⅱ	B		2				
	マネージメント実習Ⅲ	B			2			
	マネージメント実習Ⅳ	B				2		
コース必修 専門講義	アーツ・マネージメント概論Ⅰ	C	2				8	
	アーツ・マネージメント概論Ⅱ	C		2				
	文化政策論Ⅰ	C			2			
	文化政策論Ⅱ	C				2		
コース推奨 教養科目	企業と社会A	C	2				8	
	企業と社会B	C	2					
	企業と社会C	C	2					
	企業と社会D	C	2					
	日本語文章術	C	2					
	芸術A	C	2					
	芸術B	C	2					
	芸術C	C	2					
	芸術D	C	2					
	芸術E	C	2					
	芸術F	C	2					
	芸術G	C	2					
芸術H	C	2						
演劇論A	C	2						
演劇論B	C	2						
著作権	C	2						
経済学A	C	2						
経済学B	C	2						

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 小論文

又は (2) 面接

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在マネージメント・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

19 作曲家コース

教育目標 作品を書くことに主眼を置き、高度な作曲能力を養成する。在学中にコンクールに出品できることをめざす。独創的創造力を発揮し作品制作に積極的に取り組み、内外に於ける作品発表の場を拡充し実践することが望

募集人数 若干名

カリキュラム表

授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考	
		第1	第2	第3	第4			
専 門 研 究	近・現代作品研究Ⅰ	B	2			8		
	近・現代作品研究Ⅱ	B		2				
	ワークショップⅠ	B			2			
	ワークショップⅡ	B					2	
特 別 研 究	作曲特別演習Ⅰ	A	4			16		
	作曲特別演習Ⅱ	A		4				
	作曲特別演習Ⅲ	A			4			
	作曲特別演習Ⅳ	A					4	
専 門 ゼ ミ	専門ゼミⅠ	B	2			12	作曲レッスン	
	専門ゼミⅡ	B		2				
	専門ゼミⅢ	B			4			
	専門ゼミⅣ	B						4
そ の 他	管弦楽法AⅠ	B	1			8		
	管弦楽法AⅡ	B		1				
	管弦楽法AⅢ	B			1			
	管弦楽法AⅣ	B						1
	総譜奏法AⅠ	B	1					
	総譜奏法AⅡ	B		1				
	総譜奏法AⅢ	B			1			
	総譜奏法AⅣ	B						1
共 通 選 択 科 目	音楽理論史Ⅰ	B	1			2	いずれか1種類(2科目)必修	
	音楽理論史Ⅱ	B		1				
	作曲技法史Ⅰ	B	1					
	作曲技法史Ⅱ	B		1				
そ の 他	和声・対位法Ⅴ	B	2					
	和声・対位法Ⅵ	B		2				
	アナリーゼⅤ	B	2					
	アナリーゼⅥ	B		2				
	アナリーゼⅦ	B			2			
	アナリーゼⅧ	B						2
	厳格対位法Ⅰ	B	1					
	厳格対位法Ⅱ	B		1				
	厳格対位法Ⅲ	B			1			
	厳格対位法Ⅳ	B						1
	編曲法AⅠ	B	1					
	編曲法AⅡ	B		1				
編曲法AⅢ	B			1				
編曲法AⅣ	B				1			
共 通 選 択 科 目	指揮法研究Ⅰ	B	1					
	指揮法研究Ⅱ	B		1				
	指揮法研究Ⅲ	B			1			
	指揮法研究Ⅳ	B						1
	ピアノ実技BⅠ	B	1					
	ピアノ実技BⅡ	B		1				
	ピアノ実技BⅢ	B			1			
	ピアノ実技BⅣ	B						1

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、譜面及び演奏による作品審査、「専門ゼミ協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円  
 試 験 科 目 (1) 提出作品審査  
 又は (2) 作品についての面接

課 題 曲 提出作品は2作品程度とし、譜面および音源共に提出することを原則とする。  
 提出期限:10月15日(金) 16:30  
 提出先:教務課(譜面、音源共に学籍番号、氏名を記入し、封筒に入れて提出する。)

※国立音楽大学4年在学中で、現在作曲家コースを履修している者は面接試験のみとする。

試 験 日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合 格 発 表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに  
 (1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。  
 また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 20 作曲コース

教育目標 作曲のために必要な技法や知識を学び、独奏作品から管弦楽曲作品まで、さまざまな編成による想像力豊かな作品を書くための実践的能力を高める。

募集人数 若干名

カリキュラム表

	授 業 科 目	履 修 費 ラ ン ク	単 位 数				コース 最低修得 単位数	備 考	
			第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究 作曲家作品研究Ⅰ	B	2				8	作曲レッスン	
	作曲家作品研究Ⅱ	B		2					
	作曲家作品研究Ⅲ	B			2				
	作曲家作品研究Ⅳ	B				2			
	専門ゼミ 専門ゼミⅠ	B	2				12		
	専門ゼミⅡ	B		2					
	専門ゼミⅢ	B			4				
	専門ゼミⅣ	B				4			
	その他	管弦楽法AⅠ	B	1					8
		管弦楽法AⅡ	B		1				
		管弦楽法AⅢ	B			1			
		管弦楽法AⅣ	B				1		
		総譜奏法AⅠ	B	1					
		総譜奏法AⅡ	B		1				
		総譜奏法AⅢ	B			1			
		総譜奏法AⅣ	B				1		
共通選択科目	音楽理論Ⅰ	B	1				2	いずれか1種類(2科目)必修	
	音楽理論Ⅱ	B		1					
	作曲技法Ⅰ	B	1						
	作曲技法Ⅱ	B		1					
コース推奨	専門研究 ワークショップⅠ	B			2				
	ワークショップⅡ	B				2			
	その他	和声・対位法Ⅴ	B	2					
		和声・対位法Ⅵ	B		2				
		アナリーゼⅤ	B	2					
		アナリーゼⅥ	B		2				
		アナリーゼⅦ	B			2			
		アナリーゼⅧ	B					2	
		厳格対位法Ⅰ	B	1					
		厳格対位法Ⅱ	B		1				
		厳格対位法Ⅲ	B			1			
		厳格対位法Ⅳ	B					1	
		編曲法AⅠ	B	1					
		編曲法AⅡ	B		1				
		編曲法AⅢ	B			1			
		編曲法AⅣ	B					1	
		共通選択科目	指揮法研究Ⅰ	B	1				
			指揮法研究Ⅱ	B		1			
			指揮法研究Ⅲ	B				1	
			指揮法研究Ⅳ	B					1
ピアノ実技BⅠ	B		1						
ピアノ実技BⅡ	B			1					
ピアノ実技BⅢ	B				1				
ピアノ実技BⅣ	B					1			

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、譜面及び演奏による作品審査、「専門ゼミ協」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円  
 試験科目 (1) 提出作品審査

又 は (2) 作品についての面接  
 課題曲 提出作品は2作品程度とし、譜面および音源共に提出することを原則とする。

提出期限:10月15日(金) 16:30

提出先:教務課(譜面、音源共に学籍番号、氏名を記入し、封筒に入れて提出する。)

※国立音楽大学4年在学中で、現在作曲コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 21 作曲理論コース

教育目標 和声やソルフェージュの指導者など音楽理論のスペシャリストの養成をめ  
 ざす。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授 業 科 目	履修費 ランク	単 位 数				コース 最低修得 単位数	備 考				
		第1	第2	第3	第4						
専 門 研 究	創作実習Ⅰ	B	2			16					
	創作実習Ⅱ	B		2							
	創作実習Ⅲ	B			2						
	創作実習Ⅳ	B			2						
	作曲家作品研究Ⅰ	B	2								
	作曲家作品研究Ⅱ	B		2							
	作曲家作品研究Ⅲ	B			2						
	作曲家作品研究Ⅳ	B			2						
	専 門 ゼ ミ	専門ゼミⅠ	B	2				12			
		専門ゼミⅡ	B		2						
		専門ゼミⅢ	B			4					
		専門ゼミⅣ	B			4					
	コ ー ス 必 修	管 弦 楽 法	管弦楽法AⅠ	B	1			12	作曲理論レッスン		
			管弦楽法AⅡ	B		1					
			管弦楽法AⅢ	B						1	
			管弦楽法AⅣ	B						1	
総譜奏法AⅠ			B	1							
総譜奏法AⅡ			B		1						
総譜奏法AⅢ			B			1					
総譜奏法AⅣ			B			1					
厳 格 対 位 法		厳格対位法Ⅰ	B	1							
		厳格対位法Ⅱ	B		1						
		厳格対位法Ⅲ	B			1					
		厳格対位法Ⅳ	B			1					
		音 楽 理 論 史	音楽理論史Ⅰ	B	1					2	いずれか1種類(2科目)必修
			音楽理論史Ⅱ	B		1					
			作曲技法史Ⅰ	B	1						
			作曲技法史Ⅱ	B		1					
コ ー ス 推 奨	ア ナ リ ー ゼ	アナリーゼⅤ	B	2							
		アナリーゼⅥ	B		2						
		アナリーゼⅦ	B				2				
		アナリーゼⅧ	B				2				
	編 曲 法	編曲法AⅠ	B	1							
		編曲法AⅡ	B		1						
		編曲法AⅢ	B				1				
		編曲法AⅣ	B				1				
	指 揮 法 研 究	指揮法研究Ⅰ	B	1							
		指揮法研究Ⅱ	B		1						
		指揮法研究Ⅲ	B				1				
		指揮法研究Ⅳ	B				1				
		ピ ア ノ 実 技	ピアノ実技BⅠ	B	1						
			ピアノ実技BⅡ	B			1				
			ピアノ実技BⅢ	B				1			
			ピアノ実技BⅣ	B				1			

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、作品提出(一曲以上の演奏を伴う)、「専門ゼミ協」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 和声および対位法の筆記試験

又は

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在作曲理論コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 22 作曲応用コース

教育目標 映画音楽、ドラマ音楽など商業音楽を対象とし、作・編曲家の養成をめざす。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履 修 費 ラ ン ク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考	
			第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究 実用音楽研究Ⅰ	B	2				8		
	実用音楽研究Ⅱ	B		2					
	実用音楽研究Ⅲ	B			2				
	実用音楽研究Ⅳ	B				2			
	専門講義 商業音楽概論A	C	2				8		いずれか2種類(4科目)選択必修
	商業音楽概論B	C	2						
	音楽応用ビジネスⅠ	C	2						
	音楽応用ビジネスⅡ	C		2					
	デジタル・ビジュアル・デザイン応用Ⅰ	C	2						
	デジタル・ビジュアル・デザイン応用Ⅱ	C		2					
	コンピュータ音楽一般A	C	2						
	コンピュータ音楽一般B	C	2						
	専門ゼミ 専門ゼミⅠ	B	2				12		編曲法演習
	専門ゼミⅡ	B		2					
	専門ゼミⅢ	B			4				
	専門ゼミⅣ	B				4			
その他 管弦楽法AⅠ	B	1				4			
管弦楽法AⅡ	B		1						
管弦楽法AⅢ	B			1					
管弦楽法AⅣ	B				1				
共通選択科目 指揮法研究Ⅰ	B		1			2			
指揮法研究Ⅱ	B			1					
コース推奨	和声・対位法Ⅴ	B	2						
	和声・対位法Ⅵ	B		2					
	アナリーゼⅤ	B	2						
	アナリーゼⅥ	B		2					
	アナリーゼⅦ	B			2				
	アナリーゼⅧ	B				2			
	総譜奏法AⅠ	B	1						
	総譜奏法AⅡ	B		1					
	総譜奏法AⅢ	B			1				
	総譜奏法AⅣ	B				1			
	和声Ⅰ	B	2						
	和声Ⅱ	B		2					
	和声Ⅲ	B			2				
	和声Ⅳ	B				2			
	対位法Ⅰ	B	2						
	対位法Ⅱ	B		2					
対位法Ⅲ	B			2					
対位法Ⅳ	B				2				
共通選択科目 弦管打実技BⅠ	B	1							
弦管打実技BⅡ	B		1						
弦管打実技BⅢ	B			1					
弦管打実技BⅣ	B				1				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、演奏による作品審査(実演又は録音、録画物)、「専門ゼミ協」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 提出作品審査

又は (2) 作品についての面接

課題曲 提出作品は2作品程度とし、譜面および音源共に提出することを原則とする。  
提出期限:10月15日(金) 16:30

提出先:教務課(譜面、音源共に学籍番号、氏名を記入し、封筒に入れて提出する。)

※国立音楽大学4年在学中で、現在作曲応用コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

23 コンピュータ音楽コース

教育目標 プログラミング能力を磨き、コンピュータを駆使した音楽作品やマルチメディア作品などの創作能力を養成する。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	単位				コース 最低修得 単位数	備考	
		第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	コンピュータ音楽プログラミングA I	B	2		8	いずれか2種類(4科目)選択必修	
		コンピュータ音楽プログラミングA II	B		2			
		コンピュータ音楽プログラミングB I	B					2
		コンピュータ音楽プログラミングB II	B					2
		コンピュータ音楽プログラミングC I	B	2				
		コンピュータ音楽プログラミングC II	B		2			
		コンピュータ音楽プログラミングD I	B	2				
		コンピュータ音楽プログラミングD II	B		2			
	専門講義	デジタル・ビジュアル・デザイン応用 I	C	2		4	いずれか1種類(2科目)選択必修	
		デジタル・ビジュアル・デザイン応用 II	C		2			
		コンピュータ音楽概論A	C	2				
		コンピュータ音楽概論B	C	2				
	専門ゼミ	専門ゼミ I	B	2		12	コンピュータ音楽	
		専門ゼミ II	B		2			
専門ゼミ III		B		4				
専門ゼミ IV		B		4				
共通選択科目	コンピュータ音楽概論C	C	2		4			
	コンピュータ音楽概論D	C	2					
コース推奨	その他	和声 I	B	2				
		和声 II	B		2			
		和声 III	B		2			
		和声 IV	B		2			
		対位法 I	B	2				
		対位法 II	B		2			
		対位法 III	B		2			
		対位法 IV	B		2			
	共通選択科目	ピアノ実技B I	B	1				
		ピアノ実技B II	B		1			
		ピアノ実技B III	B		1			
		ピアノ実技B IV	B		1			
		弦管打実技B I	B	1				
		弦管打実技B II	B		1			
		弦管打実技B III	B		1			
		弦管打実技B IV	B		1			
		英語文化 I	B	1				
		英語文化 II	B		1			
		英語文化 A	B	1				
		英語文化 B	B	1				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
 出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円  
 試験科目 (1) 提出作品審査  
 又は (2) 作品に関するプレゼンテーション  
 課題曲 提出作品は録音(CD/DAT)またはビデオ(DVD/DV)とする。(作品形態により譜面、Maxプログラム等必要素材を添付すること。)  
 提出期限:10月15日(金) 16:30  
 提出先:教務課

※国立音楽大学4年在学中で、現在コンピュータ音楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに  
 (1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。  
 また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 24 音楽学研究コース

教育目標 卒業論文の作成などを通して、音楽学の研究に必要な知識・力量を蓄える。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授 業 科 目	履修費 ランク	第 1 第 2 第 3 第 4				コース 最低修得 単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4		
専 門 研 究	原書講読Ⅰ	B	2			9	
	原書講読Ⅱ	B	2				
	音楽学研究法Ⅰ	B/2	1				
	音楽学研究法Ⅱ	B/2		1			
	音楽学研究法Ⅲ	B/2			1		
	音楽学研究法Ⅳ	B/2			1		
卒論プレ・ゼミ	B		1				
専 門 講 義	音楽学研究講義	C	2			8	
	音楽学研究講義	C	2				
	音楽学研究講義	C	2				
	音楽学研究講義	C	2				
専 門 ゼ ミ	専門ゼミⅠ	B	2			12	
	専門ゼミⅡ	B		2			
	専門ゼミⅢ	B			4		
	専門ゼミⅣ	B			4		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「専門ゼミ協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 小論文(任意のテーマによる。400字×20枚以上)

又は ※小論文について、不明な点は教務課に問い合わせして下さい。

課題曲 提出期間:11月 5日(金) 16:30

提出先:教務課

(2) 面接

※国立音楽大学4年在学中で、現在音楽学研究コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

25 音楽情報・社会コース

教育目標 音楽関係企業(出版、放送、レコード会社など)に要求される幅広い専門

知識と実践能力を身につけ、その情報を背景としてミュージック・ライ

ター、音楽出版などで活躍できる人材を養成することをめざす。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授 業 科 目	履修費 ランク	単位				コース 最低修得 単位数	備 考
		第1	第2	第3	第4		
専 門 研 究	音楽情報研究Ⅰ	B	2			8	
	音楽情報研究Ⅱ	B		2			
	音楽情報研究Ⅲ	B			2		
	音楽情報研究Ⅳ	B					2
専 門 講 義	文化政策論Ⅰ	C			2	4	
	文化政策論Ⅱ	C					2
	音楽学研究講義	C	2				
コ ー ス 必 修	オペラ史A	C	2			4	
	オペラ史B	C	2				
	宗教音楽史A	C	2				
	宗教音楽史B	C	2				
	鍵盤音楽史A	C	2				
	鍵盤音楽史B	C	2				
	室内楽史A	C	2				
	室内楽史B	C	2				
	管弦楽史A	C	2				
	管弦楽史B	C	2				
	日本音楽史概説A	C	2				
	日本音楽史概説B	C	2				
	日本音楽(雅楽)A	C	2				
	日本音楽(雅楽)B	C	2				
	日本音楽(声明)A	C	2				
	日本音楽(声明)B	C	2				
	日本音楽(能楽)A	C	2				
	日本音楽(能楽)B	C	2				
	日本音楽(近世邦楽)A	C	2				
	日本音楽(近世邦楽)B	C	2				
	日本音楽(近世邦楽)C	C	2				
	音楽美学概論A	C	2				
	音楽美学概論B	C	2				
	音楽美学概論C	C	2				
	音楽美学概論D	C	2				
	音楽美学特殊講義A	C	2				
	音楽美学特殊講義B	C	2				
	音楽美学特殊講義C	C	2				
	音楽美学特殊講義D	C	2				
	アジア音楽史A	C	2				
	アジア音楽史B	C	2				
	民族音楽学A	C	2				
民族音楽学B	C	2					
コ ー ス 推 奨	専 門 研 究						
	原書講読Ⅰ	B	2				
	原書講読Ⅱ	B		2			
	専 門 ゼ ミ						
	専門ゼミⅠ	B	2				
専門ゼミⅡ	B		2				
専門ゼミⅢ	B			4			
専門ゼミⅣ	B				4		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試 験 科 目 (1) 小論文

又 は (2) 面接

課 題 曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在音楽情報・社会コースを履修している者は面接試験のみとする。

試 験 日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合 格 発 表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合 格 後 の 手 続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 26 楽器製作・音響コース

教育目標 別科調律専修と楽器学資料館の資産を生かしての楽器製作と修復の技

術、知識を身につける。また録音などの技術的能力の養成をめざし、音響制作の技術と知識を身につける。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	楽器製作研究Ⅰ	B	2			8(10) } 選択必修
		楽器製作研究Ⅱ	B		2		
		楽器製作研究Ⅲ	B			2	
		楽器製作研究Ⅳ	B			2	
		音響制作研究Ⅰ	B	2			
		音響制作研究Ⅱ	B		2		
		音響制作研究Ⅲ	B			2	
		音響制作研究Ⅳ	B			2	
	楽器・音響特別演習	B	2			音響制作選択者は必修	
	専門講義	楽器製作・音響講義Ⅰ	C	2			8 } 別科調律修了生は履修不要(履修済科目)
		楽器製作・音響講義Ⅱ	C		2		
		楽器製作・音響講義Ⅲ	C				
楽器製作・音響講義Ⅳ		C			2		
専門ゼミ	専門ゼミⅠ	B	2			12 } 楽器・音響演習	
	専門ゼミⅡ	B		2			
	専門ゼミⅢ	B			4		
	専門ゼミⅣ	B			4		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

出願資格 国立音楽大学別科調律専修を修了した者または修了見込みの者。

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者で、履修しようとする授業科目を学修するに足る学力・能力を有する者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) 小論文  
又は (2) 面接(適性検査を行なうことがある。ただし、準備の必要なし)

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在楽器製作・音響コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業(修了)見込者が卒業(修了)できなかった場合には、合格を取り消

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 27 音楽療法士コース

教育目標 医療行為としての音楽療法の知識を深め、障害児だけではないさまざまな対象への実践的な能力を高め、音楽療法士としての基本的な知識・技術・心構え・倫理等を身につける。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	セメスター				コース 単位修得 単位数	備考
		第1	第2	第3	第4		
専門 研究 音楽療法研究Ⅰ	B	2				8	
音楽療法研究Ⅱ	B		2				
音楽療法研究Ⅲ	B			2			
音楽療法研究Ⅳ	B				2		
専門 講義 障害児教育A	C	2				12	
障害児教育B	C		2				
臨床心理学A	C	2					
臨床心理学B	C		2				
臨床医学論A	C	2				16	臨床実習(270時間)を含む
臨床医学論B	C		2				
音楽療法特別研究Ⅰ	A	4					
音楽療法特別研究Ⅱ	A		4				
音楽療法特別研究Ⅲ	A			4		12	音楽療法演習
音楽療法特別研究Ⅳ	A				4		
専門ゼミⅠ	B	2					
専門ゼミⅡ	B		2				
専門ゼミⅢ	B			4		14	その他
専門ゼミⅣ	B				4		
器楽合奏Ⅰ	B	1					
器楽合奏Ⅱ	B		1				
器楽合奏Ⅲ	B			1		14	
器楽合奏Ⅳ	B				1		
歌唱実習Ⅰ	B	1					
歌唱実習Ⅱ	B		1				
音楽療法講義Ⅰ	C	2				12	
音楽療法講義Ⅱ	C		2				
音楽療法講義Ⅲ	C			2			
音楽療法講義Ⅳ	C				2		
指揮法研究Ⅰ	B	1				12	本学卒業生で、音楽教育演習(指揮法)または教科研究(指揮法)を修得した者を除く
指揮法研究Ⅱ	B		1				
声楽実技Ⅰ	B	1					
声楽実技Ⅱ	B		1				
ピアノ実技Ⅰ	B	1				(10)	本学卒業生で、演奏実習(ピアノ)ⅠⅡⅢⅣ、専門実技(ピアノ)ⅠⅡ修得者を除く
ピアノ実技Ⅱ	B		1				
ピアノ実技Ⅲ	B			1			
ピアノ実技Ⅳ	B				1		
弦管打実技Ⅰ	B	1				(8)	本学卒業生で、演奏実習(弦管打)ⅠⅡ、専門実技(弦管打)Ⅰ修得者を除く
弦管打実技Ⅱ	B		1				
合唱Ⅰ	B	1				12	本学卒業生で、演奏実習(弦管打)ⅠⅡ、専門実技(弦管打)Ⅰ修得者を除く
合唱Ⅱ	B		1				
リズムⅠ	B	1				12	本学音楽教育専攻、幼児教育専攻卒業生を除く
リズムⅡ	B		1				
日本音楽史概説A	C	2				6	表外の(1)~(11)の各科目群より2単位ずつ、3科目群以上を履修
日本音楽史概説B	C		2				
日本伝統音楽表現Ⅰ	B	1					
日本伝統音楽表現Ⅱ	B		1				
発達心理学A	C	2				12	
発達心理学B	C		2				
社会福祉概論A	C	2					
社会福祉概論B	C		2				
医学概論A	C	2				6	
医学概論B	C		2				
音楽療法士(補)試験受験資格を得るための科目		1					
健康科学A	C	2				6	
健康科学B	C		2				

※ 日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)の受験資格、及びコース修了認定は、本学卒業生(平成16年度以降カリキュラム適用者)のみが得られる。

日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)試験の受験資格を得るための科目

- (1)音楽実学概論、音楽実学特殊講義 (2)編曲法ⅠⅡ(音楽文化デザインのみ)、編曲法BⅠⅡ (3)キーボード・ハーモニーⅠⅡ、キーボード・ハーモニー入門ⅠⅡ (4)自由対位法ⅠⅡ、調性対位法ⅠⅡ、厳格対位法ⅠⅡ、対位法ⅠⅡ(音楽文化デザインのみ)
- (5)音楽理論ⅠⅡ、作曲技法ⅠⅡ (6)楽曲分析ⅠⅡ、アナリーゼⅠⅡ(音楽文化デザインのみ) (7)演奏論、鍵盤楽器講義(演奏解釈)(鍵盤楽器専攻のみ) (8)コンピュータ音楽概論CD、コンピュータ系講義ⅠⅡ、コンピュータ系演習ⅠⅡ(音楽文化デザインのみ)
- (9)オペラ史、宗教音楽史、鍵盤音楽史、室内楽史、管弦楽史 (10)作品研究 (11)民族音楽学

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、音楽療法士(補)の受験資格を有する者

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) 小論文

又は (2) 即興演奏を主とする実技試験

課題曲 (3) 面接

※国立音楽大学4年在学中で、現在音楽療法士コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 28 音楽教育研究コース

**教育目標** 音楽を学ぶこと、教えることに関わる分野を学問的、実践的に追及・研究する人材を養成する。音楽教育の様々な場面を対象とし、その現象の解釈や分析の方法について学ぶ。

**募集人数** 若干名

### カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	履修				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
専 門 研 究	教育研究法A	B	2				8 音楽教育研究法 音楽教育文献研究 } の単位修得者は選択	
	教育研究法B	B	2					
	音楽教育課題研究 I	B			2			
	音楽教育課題研究 II	B				2		
コ ー ス 必 修	日本音楽史概説A	C	2				8 4科目以上選択必修	
	日本音楽史概説B	C	2					
	民族音楽学A	C	2					
	民族音楽学B	C	2					
	ポピュラー音楽研究A	C	2					
	ポピュラー音楽研究B	C	2					
	ポピュラー音楽研究C	C	2					
	ポピュラー音楽研究D	C	2					
	ポピュラー音楽研究E	C	2					
	ポピュラー音楽研究F	C	2					
ポピュラー音楽研究G	C	2						
ポピュラー音楽研究H	C	2						
専 門 ゼ ミ	専門ゼミ I	B	2				10 音楽教育学特論 教育研究法C	
	専門ゼミ II	B		2				
	専門ゼミ III	B			2			
	専門ゼミ IV	B				4		

**修了認定基準** コース必修科目の単位修得、「音楽教育課題研究監」の評価B以上

**出願資格** 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

**出願期間** 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30  
**出願手続** 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

**出願書類** 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
 2. 写真2枚 3×3cm  
 3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

**出 願 料** 10,000円

**試験科目** (1) 小論文  
 (2) 小論文についての面接  
 又は  
 小論文をあらかじめ提出する。

**課題曲** 以下の日、月のいずれかの課題を選び、それについて反対意見を設定した上で論証する。1200字程度の内容とし、ワープロまたは400字詰原稿用紙とする。  
 日 岩波書店編集部編『いま、この研究がおもしろい』Part2 岩波ジュニア新書580から、いずれか1テーマをとりあげる。  
 月 斎藤信哉著『ピアノはなぜ黒いのか』幻冬舎新書(2007年5月)から、いずれか1章をとりあげる。

提出期限:11月5日(金) 16:30

提出先:教務課

※国立音楽大学4年在学中で、現在音楽教育研究コースを履修している者は面接試験のみとする。

**試験日** 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

**合格発表** 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

**合格後の手続** 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 29 吹奏楽指導者コース

教育目標 学校教育やアマチュア吹奏楽団などの現場で広く求められている質の高い吹奏楽指導者を養成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

	授業科目	履修費 ランク	履修				コース 最低修得 単位数	備考	
			第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	吹奏楽指導研究Ⅰ	B	2			8	} 本学弦管打楽器専修卒業生、及び 器楽表現(弦管打)修得者は選択	
		吹奏楽指導研究Ⅱ	B		2				
		吹奏楽課題研究Ⅰ	B			2			
		吹奏楽課題研究Ⅱ	B			2			
	専門実技		弦管打実技BⅠ	B	1				4(0)
			弦管打実技BⅡ	B		1			
			弦管打実技BⅢ	B			1		
			弦管打実技BⅣ	B			1		
	専門ゼミ		専門ゼミⅠ	B	2				10
			専門ゼミⅡ	B		2			
			専門ゼミⅢ	B			2		
			専門ゼミⅣ	B			4		
	コース推奨	専門研究	吹奏楽Ⅰ	B	2				
吹奏楽Ⅱ			B		2				
吹奏楽Ⅲ			B			2			
吹奏楽Ⅳ			B			2			
共通選択科目		編曲法BⅠ	B	1					
		編曲法BⅡ	B		1				
		編曲法BⅢ	B			1			
		編曲法BⅣ	B			1			
		指揮法研究Ⅰ	B	1					
		指揮法研究Ⅱ	B		1				
		指揮法研究Ⅲ	B			1			
		指揮法研究Ⅳ	B			1			
		教養	生涯学習概論	C	2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「吹奏楽指導課題研究監」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を総務課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) 吹奏楽器(コントラバスを含む)の演奏試験

又は 任意の楽器で任意の楽曲(3分以内)。但し、弦・管・打楽器専修の学生は免除。

課題曲 (2) 面接(志願者全員)

※国立音楽大学4年在学中で、現在吹奏楽指導者コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 30 学校教育コース

教育目標 質の高い学校教員(中学校・高等学校の音楽科)の養成をめざす。音楽科教育の研究を深めると同時に、より実践的な指導能力を身に付ける。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授 業 科 目	履修費 ランク	第1 第2 第3 第4				コース 最低修得 単位数	備 考	
		1	2	3	4			
コース必修	専 門 研 究	学校教育指導研究Ⅰ	B	2			教材研究 授業研究 } 本学卒業生で平成18募集年度から コース履修開始者は選択 教育時事研究 音楽科指導特論 } いずれか2科目(4単位)選択必修	
		学校教育指導研究Ⅱ	B		2			
		学校教育課題研究Ⅰ	B			2		
		学校教育課題研究Ⅱ	B			2		
		学校教育専門演習A	B	1				
		学校教育専門演習B	B	1				
		学校教育専門演習C	B	1				
	専 門 ゼ ミ	専門ゼミⅠ	B	2				
		専門ゼミⅡ	B		2			
		専門ゼミⅢ	B			2		
		専門ゼミⅣ	B			4		
	コース推奨	共 通 選 択 科 目	日本音楽史概説A	C	2			
			日本音楽史概説B	C	2			
			民族音楽学A	C	2			
民族音楽学B			C	2				
教 養 科 目		ポピュラー音楽研究A	C	2				
		ポピュラー音楽研究B	C	2				
		ポピュラー音楽研究C	C	2				
		ポピュラー音楽研究D	C	2				
		ポピュラー音楽研究E	C	2				
		ポピュラー音楽研究F	C	2				
		ポピュラー音楽研究G	C	2				
		ポピュラー音楽研究H	C	2				
		編曲法BⅠ	B	1				
		編曲法BⅡ	B		1			
編曲法BⅢ	B			1				
編曲法BⅣ	B			1				
発達心理学A	C	2						
発達心理学B	C	2						

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「学校教育課題研究監」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 小論文:学校教育に関するテーマについて(1000字程度。60分。)

又は (2) 面接:新曲視唱(高等学校芸術科音楽特の教科書にある歌唱曲またはそれと同程度)を含む

※国立音楽大学4年在学中で、現在学校教育コースを履修している者は面接試験のみとする。

試 験 日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 31 リトミック指導者コース

教育目標 表現豊かな音楽性を培う音楽教育法として広く展開されているリトミックの指導ができる人材を養成する。リトミック指導者としての資質を高め、十分な技能を備える。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	単位				コース 最低修得 単位数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	身体表現研究Ⅰ	B	2			8
		身体表現研究Ⅱ	B		2		
		リトミック課題研究Ⅰ	B			2	
		リトミック課題研究Ⅱ	B			2	
	リトミック指導研究Ⅰ	B	2			8	
	リトミック指導研究Ⅱ	B		2			
	リトミック指導研究Ⅲ	B			2		
	リトミック指導研究Ⅳ	B			2		
	専門ゼミ	専門ゼミⅠ	B	2			10
		専門ゼミⅡ	B		2		
		専門ゼミⅢ	B			2	
		専門ゼミⅣ	B			4	
コース推奨	共通選択科目	リトミックⅢ	B	1			
		リトミックⅣ	B		1		
		ボディータクニックⅠ	B	1			
		ボディータクニックⅡ	B		1		
		ボディータクニックⅢ	B			1	
		ボディータクニックⅣ	B			1	
		即興演奏法Ⅰ	B	1			
		即興演奏法Ⅱ	B		1		
		パントマイムⅠ	B	1			
		パントマイムⅡ	B		1		
		モダンダンスⅠ	B	1			
		モダンダンスⅡ	B		1		
		ヒストリカルダンスⅠ	B	1			
		ヒストリカルダンスⅡ	B		1		
		自由対位法Ⅰ	B	1			
		自由対位法Ⅱ	B		1		
教養科目	演劇論A	C	2				
	演劇論B	C	2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「リトミック課題研究監」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) 動きの即興表現:ピアノ演奏を聴きながら自由に動く。

又は (2) ピアノの即興表現:複数のモチーフから1つを選び、即興演奏する。  
形式は自由。

課題曲 (3) 面接:グループ面接

※国立音楽大学4年在学中で、現在リトミック指導者コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 32 合唱指導者コース

教育目標 児童、生徒、アマチュアなどあらゆる層を対象にした合唱団も十二分に指導できる能力を養成し、社会に貢献できる人材を育成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授 業 科 目		履修費 ランク	コース 最低修得 単位数				備 考		
			第1	第2	第3	第4			
コース必修	専門研究	合唱指導法Ⅰ	B	2			8	分析的研 究 作 編 曲	
	合唱指導法Ⅱ	B		2					
	合唱指導課題研究Ⅰ	B			2				
	合唱指導課題研究Ⅱ	B			2				
	専門ゼミ	専門ゼミⅠ	B	2					10
	専門ゼミⅡ	B		2					
	専門ゼミⅢ	B			2				
	専門ゼミⅣ	B			4				
コース推奨	共通選択科目	グレゴリオ聖歌A	C	2			4		
		グレゴリオ聖歌B	C	2					
	共通選択科目	指揮法研究Ⅰ	B	1					
		指揮法研究Ⅱ	B		1				
		指揮法研究Ⅲ	B			1			
		指揮法研究Ⅳ	B			1			
		総譜奏法BⅠ	B	1					
		総譜奏法BⅡ	B		1				
		西洋古楽研究A	C	2					
		宗教音楽史B	C	2					

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「合唱指導課題研究監」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 新曲の弾き歌い

又は (2) 課題曲の指揮

課題曲 ※出願時に楽譜を配布する。

(3) 面接

※国立音楽大学4年在学中で、現在合唱指導者コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

34 幼児音楽指導者コース

教育目標 幼児・児童の初歩的および基本的な音楽指導のための力量を養成する。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	単位				コース 最低修得 単位数	備考
		第1	第2	第3	第4		
専門研究	幼児音楽指導研究Ⅰ	B	2			8	}
	幼児音楽指導研究Ⅱ	B		2			
	幼児音楽課題研究Ⅰ	B			2		
	幼児音楽課題研究Ⅱ	B			2		
専門講義	表現教育研究A	B	2			4	
	表現教育研究B	B	2				
実技	声楽実技BⅠ	B	1			4	
	声楽実技BⅡ	B		1			
	声楽実技BⅢ	B			1		
	声楽実技BⅣ	B			1		
	ピアノ実技BⅠ	B	1				
	ピアノ実技BⅡ	B		1			
	ピアノ実技BⅢ	B			1		
	ピアノ実技BⅣ	B			1		
コース必修	共通選択科目					2	
	キーボード・ハーモニーⅠ	B	1				
	キーボード・ハーモニーⅡ	B		1			
	キーボード・ハーモニー入門Ⅰ	B	1				
基礎課程必修科目	キーボード・ハーモニー入門Ⅱ	B		1		2	
	音楽教育演習(リトミック)Ⅰ	B	1				
	音楽教育演習(リトミック)Ⅱ	B		1			
	幼児音楽教育講義C	C	2				
共通選択科目	幼児音楽教育講義D	C	2			2	
	日本音楽史概説A	C	2				
	日本音楽史概説B	C	2				
	民族音楽学A	C	2				
	民族音楽学B	C	2				
	ポピュラー音楽研究A	C	2				
	ポピュラー音楽研究B	C	2				
	ポピュラー音楽研究C	C	2				
	ポピュラー音楽研究D	C	2				
	ポピュラー音楽研究E	C	2				
	ポピュラー音楽研究F	C	2				
	ポピュラー音楽研究G	C	2				
ポピュラー音楽研究H	C	2					
コース推奨	キーボード・ハーモニーⅢ	B			1		
	キーボード・ハーモニーⅣ	B			1		
	キーボード・ハーモニーA~GⅠ	B	1				
	キーボード・ハーモニーA~GⅡ	B		1			

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「幼児音楽課題研究監」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 (1) 弾き歌い(コードネーム付きの簡単な旋律を即興伴奏しながら歌う)

又は (2) 面接

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在幼児音楽指導者コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

## 35 幼児教育コース

教育目標 幼児教育に関する幅広く高度な知識を学び、実践的・総合的な力量を養成する。

募集人数 若干名

### カリキュラム表

授業科目	履修費 ランク	履修年次				コース 最低修得 単位数	備 考			
		第1	第2	第3	第4					
専 門 研 究	幼児教育研究A	B	2			12	} 本学卒業生で平成18募集年度から コース履修開始者は選択			
	幼児教育研究B	B	2							
	幼児教育課題研究Ⅰ	B			2					
	幼児教育課題研究Ⅱ	B			2					
	教育研究法A	B	2							
	教育研究法B	B	2							
	専 門 講 義	表現教育研究A	C	2					4	
		表現教育研究B	C	2						
	選 択	美術A	B	2					2	
		美術B	B	2						
共 通 選 択 科 目	演劇A	B	1			6	} いずれか6単位以上選択必修			
	演劇B	B	1							
	児童福祉	C	2							
	精神保健	C	2							
	児童文学A	C	2							
	児童文学B	C	2							
コ ー ス 推 奨	キーボード・ハーモニーⅠ	B	1							
	キーボード・ハーモニーⅡ	B		1						
	キーボード・ハーモニー入門Ⅰ	B	1							
	キーボード・ハーモニー入門Ⅱ	B		1						
	キーボード・ハーモニーⅢ	B			1					
	キーボード・ハーモニーⅣ	B			1					
	キーボード・ハーモニーA～GⅠ	B	1							
キーボード・ハーモニーA～GⅡ	B		1							

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「幼児教育課題研究監」の評価B以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)  
2. 写真2枚 3×3cm  
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 (1) 小論文:幼児教育に関して(1000字程度。60分。)

又は (2) 面接

課題曲

※国立音楽大学4年在学中で、現在幼児教育コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。